

精神障害者の生活支援システム

問題 73 次の記述のうち、「障害者総合支援法」に基づく共同生活援助(グループホーム)として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地域生活支援事業に位置づけられる。
- 2 同一の建物に居室があることが要件である。
- 3 体験利用ができる。
- 4 公営住宅は使用可能な住宅から除外される。
- 5 利用期間は最長で12か月である。

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題 74 「障害者総合支援法」に規定される就労移行支援に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 対象は60歳未満の者と規定されている。
- 2 標準利用期間が設定されている。
- 3 利用者と事業者は雇用契約を結ぶ。
- 4 一般就労に移行した利用者も一定期間支援の対象である。
- 5 自立支援医療(精神通院医療)受給者証の所持を利用条件とする。

問題 75 次の記述のうち、厚生労働省が発表した障害者の雇用状況等について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「令和4年度障害者の職業紹介状況等」によれば、ハローワークを通じた身体障害者の就職件数は、ここ10年で増加している。
- 2 「令和4年障害者雇用状況の集計結果」によれば、民間企業における障害者の実雇用率はここ10年の間、1%以下となっている。
- 3 「令和4年度障害者の職業紹介状況等」によれば、ハローワークを通じた知的障害者の就職件数は、ここ10年で減少している。
- 4 「令和4年障害者雇用状況の集計結果」によれば、法定雇用率の未達成企業において、障害者を1人も雇用していない企業の割合は20%程度である。
- 5 「令和4年度障害者の職業紹介状況等」によれば、ハローワークを通じた精神障害者の就職件数は、ここ10年で増加している。

(注) 「令和4年度障害者の職業紹介状況等」とは、「令和4年度ハローワークを通じた障害者の職業紹介状況などの取りまとめを公表します ～障害者の就職件数が、コロナ禍以前の水準に向けさらに改善～」のことである。

問題 76 クラブハウスモデルに関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 Nothing about us without us(私たち抜きに私たちのことを決めるな)を合言葉とする。
- 2 日本においても国際基準の認証を受けた当該モデルの活動がある。
- 3 運営していく責任はメンバーとスタッフにあり、最終的な責任は施設長が負う。
- 4 迅速な求職活動を原則とする。
- 5 リバーマン(Liberman, R.)によって考案された。

問題 77 次のうち，都道府県に策定又は設置の義務が課せられているものとして，正しいものを1つ選びなさい。

- 1 障害者基本計画
- 2 地方精神保健福祉審議会
- 3 自殺総合対策大綱
- 4 防災基本計画
- 5 精神医療審査会

(精神障害者の生活支援システム・事例問題)

次の事例を読んで、問題 78 から問題 80 までについて答えなさい。

〔事 例〕

A さん(40 歳、男性)は、20 代後半にうつ病で通院したことがある。その後、回復して IT 企業に就職し、仕事に懸命に取り組んでいた。ところが、最近、A さんが開発したソフトウェアの不具合が複数発生したため対応に追われ、疲労困憊^{ひ ろうこんばい}し、食欲不振や不眠も現れ、ふさぎ込むようになった。心配した妻に連れられて、かつて通院していた Y 精神科病院を受診した。A さんは、診察の際に医師に、「死にたい」と言っており、うつ病の再発と診断されたため、休職して入院した。

Y 精神科病院の B 精神保健福祉士が、A さんに詳しく話を聞くと、「ここ数か月は毎日残業で、休日にも出勤していた」と話した。そこで、妻に、最近 1 か月の時間外労働の時間数を職場に確認してもらったところ、160 時間を超えていることが分かった。B 精神保健福祉士は、この状況は、ある社会保険制度の「心理的負荷による精神障害の認定基準」(以下、認定基準)に該当するのではないかと考え、A さんにこの制度の説明をしたところ、申請の意思が示されたため、必要書類を一緒に準備し、Z 機関に提出した。(問題 78)

入院中の A さんは、責任感や経済的な理由から復職を急いでおり、病状が安定しない日が続いたが、2 か月後、Z 機関から「認定基準」に該当すると認定された。(問題 79)

その後、A さんは 1 か月ほどで退院することができた。退院してから半年がたち、通院中の A さんから B 精神保健福祉士は復職の相談を受けた。その中で、「復職を主治医に相談したところ、賛同してくれた。ただし、職場には時間外労働の在り方について考えてもらわなければいけないと言っていた」「今後は体調を崩さないように、今の自分に合った働き方を考えたい」などの言葉が聞かれたため、B 精神保健福祉士は、U 機関による精神障害者総合雇用支援の職場復帰支援の利用を A さんと一緒に検討することとなった。(問題 80)

問題 78 次のうち、Z機関の業務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 労働基準法の運用に関する事務
- 2 障害者雇用率の未達成企業への指導
- 3 障害者に対する就業や生活面の一体的な相談・支援
- 4 失業の認定
- 5 公共職業訓練の紹介

問題 79 次のうち、この認定によりAさんが受けたものとして、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 療養補償給付
- 2 傷病手当金
- 3 障害補償年金
- 4 休業補償給付
- 5 障害補償一時金

問題 80 次の記述のうち、U機関の職場復帰支援として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 休職者と離職者が支援の対象である。
- 2 標準的な支援実施期間は、1年間である。
- 3 雇用事業主への支援が行われる。
- 4 公務員も支援の対象となる。
- 5 自立支援給付の対象となる。